

# NEWS RELEASE

報道関係各位

平成 27 年 5 月 28 日

## 次世代ファイアウォール&VPN ルーター 「AT-AR4050S/3050S」をリリース

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、次世代ファイアウォール&VPN ルーター「AT-AR4050S」の出荷を 6 月 4 日から開始します。あわせて文教市場向けのアカデミック製品をリリースします。また、「AT-AR3050S」と、「サブスクリプションライセンス (※)」も順次リリースします。

「AT-AR4050S/AR3050S」は、次世代ファイアウォール搭載の UTM&VPN ルーターです。IPsec や L2TPv3 などの VPN への対応や、「アプリケーションコントロール」や「Web コントロール」などの次世代ファイアウォールで必要不可欠なセキュリティーエンジンを搭載し、外部からの攻撃や社内からの情報漏洩を防ぎ、安全なインターネット接続環境を構築できます。

### 【主な特長】

#### 1) 次世代ファイアウォール

従来からの「ステートフルパケットインスペクション」をはじめ、次世代ファイアウォールで必要不可欠のセキュリティーエンジン「アプリケーションコントロール」、「Web コントロール」、「IP レピュテーション(IP アドレスブラックリスト)」、「アンチウィルス (予定)」、「アンチスパム (予定)」を搭載しています。

(※) AT-AR4050S/AR3050S のセキュリティー機能を使用する場合は、別途リリース予定のサブスクリプションライセンス (時限付フィーチャーライセンス) が必要です。

#### 2) オールギガ・マルチインターフェース

WAN ポートに 10/100/1000BASE-T×2 ポート、SFP×2 スロット (コンボ)、バイパスポート×2 ポート、LAN ポートに 10/100/100BASE-T×8 ポートを搭載し、WAN 回線の冗長や、WAN/DMZ 構成等の構築が可能です。

#### 3) 高可用性

バイパスポートを搭載し、1 本の WAN 回線で機器冗長が可能になります。アクティブ側の機器の電源故障を含む機器故障や LAN 側ポートのリンクダウン等においてスタンバイ側の機器に切り替えることでダウンタイムを抑えることができます。回線費用を節約しシステム全体の高可用性を向上させつつ、さらに、AMF 機能により機器交換のみの迅速な復旧を実現し保守性も向上します。

#### 4) AlliedWare Plus (AW+)

スイッチ製品「x シリーズ」と共通の OS を採用。機能ごとにモジュール分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来の方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。

#### 5) Allied Telesis Management Framework (AMF) 対応

AMF とはネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な 1 台の機器として統合管理することで、管理・運用の「一元化」「簡素化」「自律化」を行い、管理・運用に関わるコスト削減を実現するアライドテレシス独自のネットワーク仮想化機能です。当社 x シリーズ・スイッチ製品と次世代ファイアウォールである AR シリーズの統合管理が可能になります。

#### 6) グローバルモデル

日本を含むグローバル共通モデルです。国内での拠点間接続を含め国際間ネットワークの構築も容易になります。

《新製品》  
製品名  
AT-AR4050S

標準価格（税別）  
¥198,000

リリース予定日  
6月4日

・アカデミック製品  
AT-AR4050S-T5

¥198,000

6月4日

<<製品に関するお問い合わせ>>

0120-860442

<http://www.allied-telesis.co.jp>

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティング・コミュニケーション部 田中 利道

Tel:03-5437-6042 E-Mail: [totanaka@allied-telesis.co.jp](mailto:totanaka@allied-telesis.co.jp)

アライドテレシス株式会社

東京都品川区西五反田 7-21-11 第2 TOC ビル